



さくら

2008 立春

発行
社会福祉法人 東桜会
第 18 号
〒420-0962
静岡県葵区東 527 番地の 1
特別養護老人ホーム 麻機園
TEL 054(247)8739
FAX 054(247)8640

最近気になること

東桜会 理事長 長谷川達也

新年の挨拶をしたのがつい先日のように思えるが、早や二月、寒い寒いと言いつつも、梅の花から桜の花へとかけ足で走り去ってしまう。自然は毎年同じサイクルで回っているのに、年令のせいかな最近はいやに一年が短い。

東桜会も、昭和六十三年四月に麻機園を開園し、多くの皆様に支えられて、二十年を経過したことになる。この間施設の増設、サービス事業の拡充、桜花の開設、有永グループホームの運営受託等々、先代の秋山小八理事長を中心に、一丸となって運営に当り、おかげをもって充実した老人介護施設として時代の要請に応じて参りました。措置費運営の時代から、平成十二年より手探りで始まった介護保険事業へと福祉の大転換を機に、人々が幸福で安定した暮らしができる環境、また、その実現のための施策と言う「福祉」に対する物の考え方も、大きく変化してきました。

確かに福祉はお金がかかります。介護保険制度は、福祉を金で買うと言うと聞きまえが悪く、言いにくい言葉ではあるが、いや応なしにその方向に向かっているのは事実であります。世界に類を見ないと言われる我が国の少子高齢社会への対応を迫られている中で、やむを得ないことは知りながら、もう少し介護保険事業と公共団体で行う福祉事業を両立させながら国民の要望を満たせる方策はないものかと身分を越えた事を考えたりもする。

昨年より改正された介護保険法では、施設の経営も、これを利用する者も非常に厳しく、このまま長期間続けば、施設も、介護保険制度も崩壊するのではないかと恐れるのは私だけではないと思うからである。

閑話休題

世の中には困っている人がたくさんいます。いま一度原点にもどり、質の高いサービスに努める事が、私達に今与えられた責務のように思える今日この頃です。

～ 麻機園ケアプランサービス ～



ジリジリ、1本の電話がかかってくる。

「もしもし、麻機園ケアプランサービス です。」

『うちのばあさんが転んで動けなくなって困っている』

「それは大変ですね。どのような状態でしょうか？」

介護保険の手続きはお済みでしょうか？」

『介護保険？保険証はあるが、手続きはよく分からなくて・・・』

「それでは私がすぐにお伺い致します。」

こんなふうにご利用さんとのお付き合いが始まります。その後の訪問では、困っていること、ご希望などをうかがい、契約、サービスの開始へつなげます。

介護保険が始まってから、ホームヘルプサービス、デイサービスなど、サービスの種類が多岐に渡っています。ご家族との話し合いの中で、その人にとって一番合っていると思われるサービスを紹介し、そして利用がスタートします。時々、一番始めにかかってきた電話のことや、契約の時の光景を思い出し、『うちのばあさんを頼む』そこにある色々な想い、契約書にサインする時のペンの動き、ある種の決意、その想いに自分はしっかりと応えられているだろうか？

『ケアマネを麻機園さんに頼んで良かった』そう信頼されるケアマネになれるよう、これからも頑張ります。

～ようこそデイサービスへ～

「おはようございます」と職員の声かけに「おはよう」と笑顔と一緒に返ってくる皆さまのお返事。デイサービスの朝はそこから始まります。利用者の皆さまが、お休みにならず、元気に通所して下さる事が、私達職員にとってなにより嬉しい事です。

私は9月1日にデイサービスに異動して来ました。それまでは有永グループホームで認知症の方々と昼夜共に生活していましたが、そうした中で思うのは、人は必ず歳をとり、老い、そして老い方にも色々あるという事。元気にデイサービスに通って下さる利用者の皆さまは、「なんと上手に歳を重ねた事が！」と関心します。例えば車椅子を利用していても、一生懸命リハビリに励んで「絶対歩けるようになりたい」と声を大にしておっしゃる方、大きな声で笑い会話をする方、そのひとつひとつが歳を重ねても必要な事です。老いて必要な事、老いたからこそ必要な事が、麻機園デイサービスには沢山あります。麻機園デイサービスを利用して、ますます楽しみが増え、笑う事が増えて、一人ひとりに考える事が多くなるよう(=脳の働きが良くなる)一人ひとりの生きがいを大切に、サービスの提供ができるよう職員一同頑張ります。

皆さま、麻機園のデイサービス一般型に、是非一度お越し下さいませ。

『あさはたえんデイサービスの歌』(鉄道唱歌の替え歌です)

1. 我等の人生これからだ 花咲く春の時のよう
いつも陽気にほがらかに 今日も花咲くあさはたえん
2. 我等の人生これからだ くよくよせずに毎日を
楽しく元気に過ごしましょう 今日とはつつあさはたえん
3. 我等の人生これからだ みんなの元気な姿見て
歌に体操に気が晴れて 今日もうらかなあさはたえん



デイサービス一般型 主任 海野 園江



「節分」

2月3日、『一年の「福」を招くように』と豆まきを行いました。

さくらの広場では、赤鬼・青鬼を囲んで円になり、大きな声で「福は内！福は内！」と豆をまきました。「鬼は外！鬼は外！」と鬼に向かって力いっぱい投げの方や、中には鬼の面を取り、自ら鬼になる方もいて、大変盛り上がりました。「歳の数なんて食べきれないよ」と言い、豆を投げるより、食べる方が楽しみだった方も多かったようです。

皆さんのたくさんの笑顔で、麻機園に『福』が来ました。

「感謝の気持ち」 須田光美
私が介護の仕事に携わって十年が経とうとしています。
この仕事に興味を持った理由が二つあります。一つは、コップ一杯のビールで酔い、食卓の椅子からバタンと落ちて寝てしまう父を、小さな体の母が抱きかかえ大変そうに布団まで連れていく姿を何度も見ているが、将来、歳をとった両親を自分が介護していけるのだろうかと思安になったのです。もう一つの理由は、二人の祖父を(一人は寝たきり、もう一人は認知症になり、家族皆で協力しあい、支えていた姿を見ていたからです。戦後何もない時代に、仕事、子育てと一生懸命生きてきた祖父と祖母。世の中には大勢のお年寄りが出て、そのみなさんが築いてくださり今があります。その方達が介護を必要としているのではないのか？今自分にできる事は何だろうと考えた結果、介護の仕事に就く事に決めました。
日々、生活のお世話をしている中で、利用者のみなさんから心のこもった一言や、優しい笑顔に励まされ、癒されています。お世話をするつもりが、逆に元氣や優しい気持ちをもたらしたり、また、人との接し方について考える良い機会をもたらしています。
介護の仕事に携わる事ができ、そのきっかけを与えてくれた人達、一緒に同じ時を過ごしている利用者のみなさん、そして職員の方々に、感謝の気持ちで一杯です。今までの経験をこれから先の人生に役立てていきたいと思えます。

デイサービスを無料で1日体験できます。ご利用希望の方は209-2619までお電話ください。